

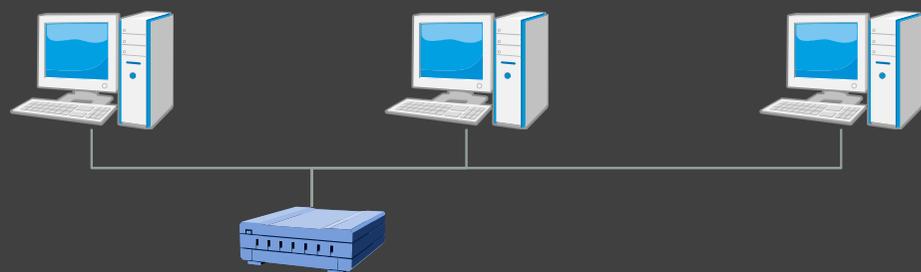
共有メモリ LAN 対応化

共有メモリによるアプリケーション間通信の拡張

Unicom

概要

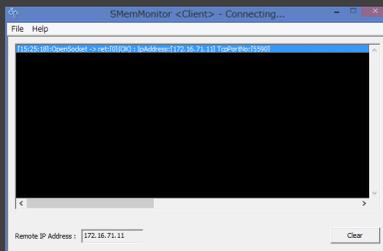
- サーバ機能(1台)とクライアント機能(複数台)による構成
- 共有メモリ構成情報(名称・サイズ)の設定はサーバのみ行う
 - クライアントへはサーバから共有メモリ構成情報が通知される
- ユーザアプリケーションが共有メモリを更新すると、サーバ経由で全てのクライアントと同期
- 共有メモリによるアプリケーション間通信を、他PCとのアプリケーション間通信へ拡張できる



Unicom

アプリケーション

- 実行環境 : Windows XP以降
- 実行ファイル(サーバ、クライアント共に同一ファイル)
- 設定ファイル
 - サーバ/クライアント、IPアドレス、TCP/IPポート番号を設定
- 常駐アプリケーション(タスクトレイアイコン化)として動作



共有メモリ構成情報

- 共有メモリ名称
- 共有メモリ Mutex用名称 (CreateMutex, WaitForSingleObject, ReleaseMutexで使用)
→ 共有メモリアクセス時、ユーザアプリケーションとの排他制御に使用
- 共有メモリサイズ
- これらの情報をテキストファイル経由でアプリケーション(サーバ機能)に通知する